

令和3年度水道に関するアンケートの結果について(一部紹介)

この度、「令和3年度水道に関するアンケート調査」を実施しました。

この調査結果は、次期経営計画を策定するにあたり、より良いサービスの提供を目指すために参考とさせていただきます。

ご協力いただいた皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

今回はアンケート集計結果の一部をご紹介します。

アンケートの内容については今後も、広報誌やホームページで紹介していきます。

調査の主な内容

- (1) 水道水、飲用水の利用状況についての設問
- (2) 水道水の水質等についての設問
- (3) 滝沢市の水道の取り組み等についての設問
- (4) 水道事業の広報活動等についての設問
- (5) 今後の水道事業への期待についての設問

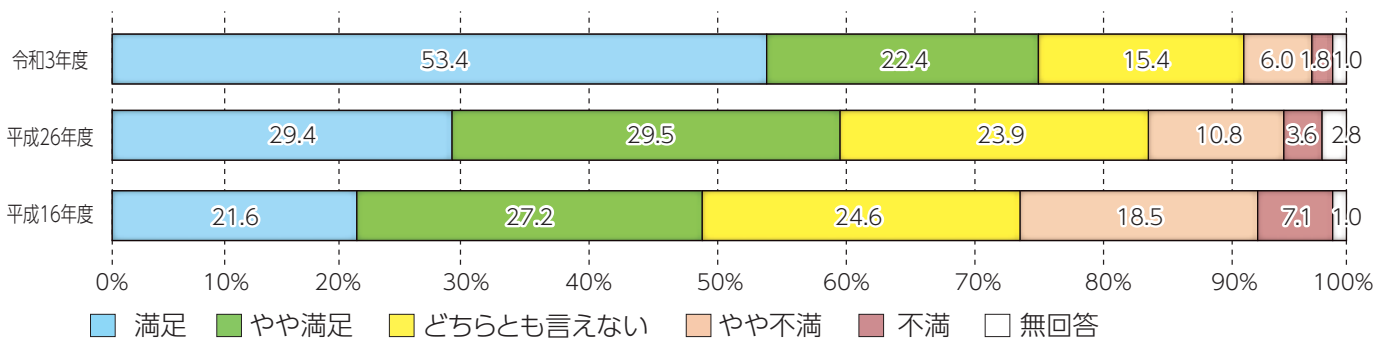
調査について

- ・実施期間 令和3年12月1日～12月24日
- ・調査方法 調査票を郵送回収する方法
- ・調査対象 水道利用者
滝沢市水道給水区域内の水道利用者から3,000件を無作為抽出
- ・回答率 48.60%



ご協力ありがとうございました。

Q:現在使用している水道水の水質についてどのように感じていますか。



過去の調査結果と比較してみると、年々満足度が増加している傾向にあります。

滝沢市の水源は98%が水質に優れた地下水となっており、水質検査や水源の監視など徹底した水質管理を行っています。



皆さんからの質問

Q:滝沢市の水質は良質なのに、どうして塩素をいれるのですか?

A:水道水は、地下水のように水質が良質であっても衛生管理のため塩素消毒を行うことが法律により義務付けられています。また、市ではほとんどの人が臭いを感じないといわれる塩素濃度0.4mg/L以下になるように管理しています。

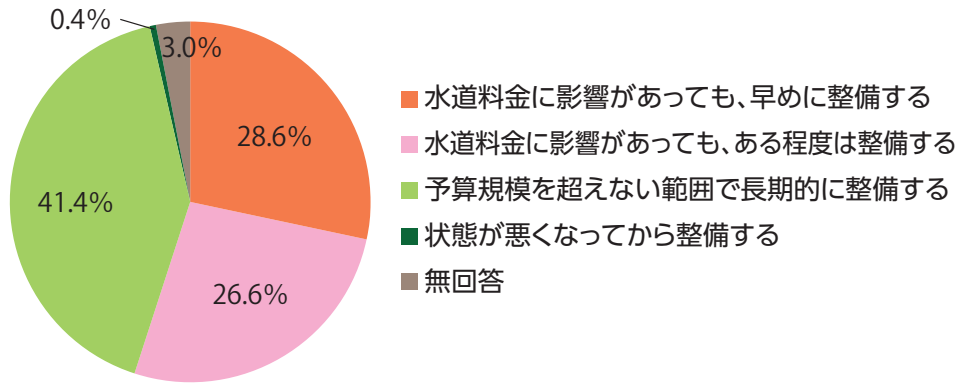
Q:あなたは、水道事業に関してどのような情報を提供してほしいと思いますか。

最も多かった意見は「水質について」でした。その他、「災害時の対応について」や「修理・凍結解凍等の対応について」の意見も多くなっており近年の自然状況に応じて、もしものことを想定した情報提供が求められているようです。

また、有効な情報手段として「広報誌」が最も多い回答でした。引き続き広報誌中心に水道事業の情報発信を行っていきます。



Q:安全な水を今後も持続的に供給していくために、老朽化した水道施設や水道管の更新、災害等に備えた耐震化が課題となっていますが、どう考えますか。



滝沢市の課題である耐震化事業推進の問いです。水道料金に影響があっても整備を急ぐ意見が多い結果となりましたが、安全の確保も大切だが料金値上げは心配という声もありました。

皆さんからの質問

Q: テレビ等で老朽化した水道管の破裂、漏水事故を目にします。漏水調査は行われているのですか。

A: 市では漏水の多い地区を中心に計画的な漏水調査を行っています。特殊な装置により漏水音を確認し、水道管の漏水の有無を調べています。
また、毎月の検針時には異常水量調査を実施し、漏水の疑いがある場合は該当の方へお知らせしています。

皆さんからの質問

Q: 地震等災害時の対策は?

A: 市では災害等による断水が発生した場合、給水タンク車を稼働させ給水活動を行います。また、日本水道協会を通じて、広域で助け合う体制が構築されており、災害時に備えて訓練も計画的に行っています。

そのほかのアンケートコメント

多くの要望や激励の言葉をいただきました。今後も皆さまの声を聞きながらのサービス向上に向けて努めていきます。

皆さんからの質問

Q: 水道事業は水道料金でのみ経営されているのですか?

A: 地方公共団体は税収が主な財源となっていますが、水道事業の経営は、法律によって「事業に必要な経費はその経営に伴う収入をもって充てること」と定められており、受益者負担の原則により市の上水道を使用している人からの水道料金収入を主な財源として経営しています。

大切な命にかかわる水。老朽化している所から順番に水道管を交換する事業を進めてほしい。

更新工事計画について情報がほしい。

滝沢の水はおいしいです。これからも安心安全な水の提供をお願いします。

クレジット・スマホ決済を導入してほしい。



アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

